

新火葬場待合所が完成



12月20日発行のおしらせ号でお知らせしたとおり、昨年8月下旬に始まった篠津山霊園の新火葬場待合所の建替工事が完了し、12月下旬より利用が可能となりました。

旧待合所と比較して、新しい待合所が利用しやすくなった点をご紹介します。

これまでの待合所

旧待合所は、火葬が終了するまでの間、遺族や会葬者の多くの方が式場に戻り、十分に利用されていないのが現状でした。

【主な理由】

- 建物の規模が小さい
- バリアフリー化されていない
- トイレなどの設備が古い
- 冬期間は寒い

以上の理由から利用されづらい状況となっていました。

様々な方が利用しやすい施設へ

新しい待合所は、遺族や会葬者が火葬から収骨までの間、一時的に体を休め、遺族の悲しみを少しでも和らげる空間となるよう落ち着いた雰囲気の設定となっています。

延床面積は約70㎡の広さで、旧待合所と比較すると、約1・4倍の広さとなります。人数も40名程度まで収容することができ、比較的親族の多い方でも利用することができます。



問合せ先

住民課
生活環境係
☎53・2323

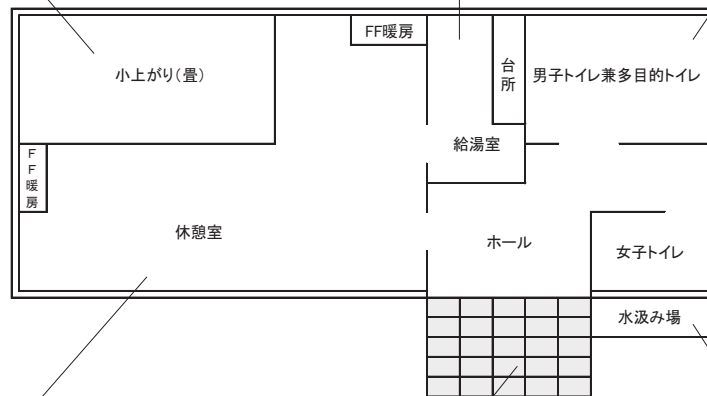
▼高齢者などがゆったりと体を休める畳張りの小上がり



▼給湯室が広くなり、賄いの準備がしやすくなりました



▼多目的トイレは車いすでの利用が可能となったほか、乳幼児用にベビーベッドを配置しました



▲土足での利用となり、テーブルと椅子は自由に配置が可能となりました



▲玄関をバリアフリー化しました



▲桶と柄杓はホールの中にあります

施設の特徴

●休憩室

休憩室の広さは42・2平方メートルで、室内での土足を可能とし、靴の脱ぎ履きもなくなることから、足の腰の不自由な高齢者や車いすを利用される方に対して、利用しやすい施設となりました。また、休憩室内には11・4平方メートル(約7畳)の畳の小上がりがあり、高齢者や乳幼児のお子様も安心して体を休めることができます。

●給湯室

床面積は、従来の約3・4倍の広さとなり、簡単な賄いの準備が容易になりました。

●トイレ

車いすの方でも利用可能な広さと乳幼児のためのベビーベッドを備え、おむつ替えができる多目的トイレを設けました。

●水汲み場

水汲み場を新待合所の正面玄関右横に配置しました。桶と柄杓は新待合所のホール内にあります。

●空調設備

暖房設備が新しくなったほか、エアコンを設置しており、1年を通して快適にご利用いただくことができます。

※11月～3月までの冬期間、火葬日以外は閉館となります。